

## 会 議 報 告 書

会議名	令和元年度（第1回）山陽小野田市・山口東京理科大学連携協議会		
日 時	令和元年7月1日（月） 18時00分～19時00分	場 所	山陽小野田市役所 第2委員会室
出席者	委 員：井上 啓（山陽小野田市立山口東京理科大学学生部長） 北條 信（山陽小野田市立山口東京理科大学地域連携センター長） 河合久雄（山陽小野田市立山口東京理科大学地域連携部長） 川地 諭（地域振興部長） 兼本裕子（福祉部長） 尾山邦彦（教育部長） 関係課：教育総務課（吉岡教育部次長、矢野補佐、福田主任） 事務局：山陽小野田市立山口東京理科大学地域連携研究推進室 田中主任主事、藤井主事 市 清水企画部長、篠原企画部次長 企画政策課（和西課長、杉山主幹、佐貫）		
<p><b>1 委員紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員、事務局あいさつ</li> </ul> <p><b>2 令和元年度会長選出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局案として、地域連携センター長の北條委員を会長とする案を提示し、委員承認。</li> </ul> <p><b>3 令和元年度の連携事業の状況について（4月から6月まで）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市から大学への依頼 企画政策課杉山主幹が資料3-1に基づき説明。</li> <li>・大学から市への依頼 地域連携研究推進室田中主任主事が資料3-2に基づき説明。</li> </ul> <p><b>【主な質疑】</b></p> <p>（井上委員）市から大学に依頼する連携はどのレベルまでが対象なのか。私は2件の市の委員に就いているが、今日の資料の中に出ていない。</p> <p>（企画政策課）昨年度以前から既に委員に就任しているものについては、任期切れによる交代のタイミングの際に、連携依頼シートを出してもらうようになるため、今回の資料には出てこない。</p> <p>（井上委員）資料3の新規と継続はどう違うのか。</p> <p>（企画政策課）単年度ごとに完結する事業は、継続として整理している。</p>			

(川地委員) 委員の就任依頼やボランティアの募集は企画政策課を通すことになるのか。また、この協議会で、連携事業として承認する、しないは言えないのではないか。

(企画政策課) 連携事業の中には、大学に依頼するほどの事業ではないものや、ゆくゆくは、地域と連携すべき事業もある。連携事業としてふさわしいかどうかの審議をしていただきたい。今年は、連携事業の状況がわからないので、とりあえず連携事業を全て洗い出して整理したい。

(川地委員) 例えば、大学に審議会等の委員就任を依頼することについて、連携協議会が良い悪いを判断するのは疑問だ。来年度に向けて整理してほしい。

(北條会長) 現在、来年度に向けた連携事業決定のスケジュールを立てている。連携状況のデータを蓄積していけば、全体像が見えてくるので審議ができる。

#### 4 令和2年度に向けた連携事業の市・大学における検討スキーム(案)について

- ・市から大学への依頼

企画政策課杉山主幹が資料4-1に基づき説明。

- ・大学から市への依頼

地域連携研究推進室田中主任主事が資料4-2に基づき説明。

##### 【主な質疑】

(川地委員) 予算の支出がないボランティアの依頼に関する実施計画は出していない。また、委員の就任依頼は経常的経費を支出する事業だが連携依頼シートを出すのか。

(企画政策課) 経常を含め、もれなく連携依頼シートを出す必要がある。

(兼本委員) ボランティアなど予算を伴わない事業の一方で、統計、分析などは費用がかかるので予算化する必要がある。予算を伴うものについて、事前協議はどうするのか。統計などは、学生に手伝ってもらう費用が必要になる。

(企画政策課) 期限は11月・12月までだ。そのあたりを見据えて、企画政策課に相談してもらいたい。

(川地委員) 先に企画政策課と調整したら良い。

(兼本委員) 民間企業より大学に依頼した方が良い場合もあるので協議したい。

(井上委員) ボランティアについては話が出たが、ボランティアをやりたい学生はいる。

(川地委員) ハロウィンへのボランティアの斡旋を、大学の部長にお願いした。新規事業だと予算が確定しないと依頼できないので、7月では連携依頼シートを出せない。ケースバイケースの対応がいる。

(河合委員) 学生のボランティアについては、学生部長にも入ってもらって、大学内

で協議したい。

(北條会長) 学生を使う場合も、これまでは審査なしでやっていた。今後は依頼するのに適切かどうか、審査した上で連携していきたい。地域連携研究推進室に依頼が来たら、すべて学生部に情報を渡したい。

## 5 かがく博覧会について

- ・第10回「かがく博覧会」の概要及び予算内訳について  
教育総務課吉岡次長が資料5、6、7に基づき説明。

### 【主な質疑】

(河合委員) 10周年事業は何をするのか。

(教育総務課) 県内出身の先生を招いて、サイエンスショーを行いたい。

かがく博覧会の内容及び予算について、事務局案で委員承認。

## 6 その他

### 【主な質疑】

なし。

以上、協議会終了。